

米高官たちが認める：米はロシアについて大衆にウソをついている

<https://www.infowars.com/posts/us-officials-admit-theyre-literally-just-lying-to-the-public-about-russia/>

Caitlin Johnstone | RT

April 9, 2022

NBC ニュースが今、多数の匿名のアメリカ高官による、新しい、ユーモラスなタイトルをもつ報告を発表している：——「アメリカは過去のやり方をやめ、ロシアとの情報戦において、たとえ確実でない情報でも、情報を用いている。」

<https://www.nbcnews.com/politics/national-security/us-using-declassified-intel-fight-info-war-russia-even-intel-isnt-rock-rcna23014>

高官たちは、バイデン政権が、ウクライナにおけるロシアの計画について、「情報戦」を急速に進めているが、それらは「あまり信用できない」か、「固い証拠よりも分析に基づく」か、または、プーチンと情報戦を戦うための、単なるウソにすぎないと言っている。

報告は、この目的のために、米政府は、虚偽の、または証拠の乏しい主張を、故意に流布させていると言いき、それは化学兵器攻撃が差し迫っていると、ロシアが侵略を正当化するために、ドンバス地域にニセ旗攻撃を用意しているとか、プーチンのアドバイザーが彼をニセ情報で騙しているとか、ロシアが中国から武器の供与を求めている、といったものである。

抜き書きをしよう。強調は原著者：——

それは世界中に見出しを広め、人の注意を引くための主張だった。米高官たちは、ロシアがウクライナで、化学薬物を用いる準備をしている可能性があるという、示唆を受けたと話した。

ジョー・バイデン大統領は、後に、それを公然と言った。しかし 3 人の米高官が、今週、NBC ニュースに話した所では、ロシアがウクライナ近くに、いかなる化学兵器を持ち込んだ証拠もなかった。

バイデン政権の一連のやり方の一つは、これまでの慣行を破って、ロシアに対する情報戦争の一部として、機密情報を流布させることだ。政府は、その情報が確実なものでなくてもよく、プーチン大統領を動揺させるために、それをやっているのだと高官は言った。

そこで彼らはウソをついた。彼らは自分のウソは立派な理由によるものと言うかもしれない。しかしともかく、それはウソで、彼らは、真実と考える理由の全くない情報を、承知の上で流している。そしてそのウソは、西側世界の最も影響力あるメディアのすべてによって、増幅されている。

バイデン政権が、ニセの物語を、「情報戦争」の一部として公表した、もう一つの例がある：

ロシアが、可能な軍事援助を中国に求めたという非難は、同じように**確かな証拠のない**もので、これは1人のヨーロッパ高官と、2人に米高官の話によるものだ。

米高官の話では、**中国がロシアに対する、兵器の供給を考えていることを示すものは全くない**。しかしバイデン政権は、中国に対して、そんなことをしないように警告を発した、と彼らは言う。

米帝国による先週の主張だが、プーチンは彼のアドバイザーに騙されており、これは彼らが、彼に真実を言うことを恐れているからだという話は、NBCの調査による報告では、「確かでなく、固い証拠よりも、分析に依存するものだ。」

<https://www.nytimes.com/2022/03/30/world/europe/putin-advisers-ukraine.html?smid=tw-nytimes&smtyp=cur>

私の、この滑稽な、CIAによるメディア情報は、嘲笑されることだろう。ところが実は、これはNYタイムズに報道され、大ニュースを装って、批判も何もしないに発表されたものなのである。<https://twitter.com/caitoz/status/1509296931558010881>

我々はまた、この2月に、国務省報道官 Ned Price の、奇怪な、アレックス・ジョーンズの声色によって、見事にからかわれた。アレックスはそこで、ロシアは侵略を正当化するために、「ニセ旗」ビデオを公開しようとしていると、危機役者たちを使って演じてみせた。

<https://caitlinjohnstone.substack.com/p/us-again-tries-to-pass-off-government>

(注：「危機役者」 crisis actor も、アメリカ伝統の常套手段である)

NBC 報道が論じている米政府の、他のウソは、それほど抜け目ないものではなかった：—

別の暴露ニュースでは、米高官たちは、ウクライナに（露製の）MiG 戦闘機を供給しない一つの理由は、機密情報によると、ロシアがそれをエスカレーションの動きと考えるからだった。それはその通りだ。しかしそれは（米製の）Stinger ミサイルにも当てはまることで、バイデン政府はこれを供給したが、2人の米高官によると、彼らが MiG 情報の極秘を解除したのは、それらをウクライナに供給するなという、議論を煽らせるためだった。

バイデン政府は、ウクライナに武器を送る意図をもっていた。それは核超大国によって、挑発的エスカレーションと思われるとわかっていながら、とにかくそれを送った。そしてそれについてウソを言った。どこまでも図々しいやり方だ。

この NBC 報道によって、我々が何か月も聞いていた噂が本当だったことがわかる。職業的な戦争のチアリーダー Max Boot は、2月に、外交問題評議会のシンクタンクを通じて、バイデン政府は「情報作戦の新しい時代」を切り開いたが、それは真実を言うためでなく、プーチンの決定に影響を与えるための情報を、開放するためだと言った。

<https://www.cfr.org/in-brief/why-us-ramped-its-information-war-russia>

元 MI6 チーフ John Sawyer は、2月に、大西洋評議会のシンクタンクに向って、バイデン政府の「情報」公開は、現実の情報よりも、一般的な雰囲気に基づくもので、情報を与えるというより操作することを目的としている、と言った。

<https://twitter.com/ggreenwald/status/1494303861846294537>

そして迷っている人々のために言うと、NBC は単に、米政府内部の警告者によって、権力者のウソを大胆に暴露して、大きなリークを公表しただけではない。この論説の著者の一人は、Ken Dilanian といって、2014年、ロサンゼルス・タイムズに書きながら、文字通り CIA の人的資産として働いていたことが、明かになった人物である。もしあなたが、「ディラニアン」の名前を署名入り記事で読むなら、あなたの読んでいるものこそ、アメリカ帝国のマネージャーたちが、あなたに読ませようと企んでいるものだと考えたらいい。

<https://archive.ph/rxKop>

そこで、なぜ彼らは今、わざわざこれを我々に教えるのだろうか？ 米政府は、大衆の信頼を失うことを気にしていないのだろうか——もし、この最も目立つ国際紛争について、彼らが絶えずウソをついていることを認めるならば？ そして、もしこれが NBC のソースが主張するように、「プーチンの頭に入ること」を狙った「情報戦争」ならば、主流メディアを通じてそれを公然と報道することは、完全にその目的に反するのではないのか？

そのような疑問への答えこそが、本当にゾッとする部分なのだ。私はこの事柄について、あらゆる人々からのフィードバックや意見を歓迎する。しかし私に考えられる限り、米政

府がこの物語を一般に公表する唯一の理由は、一般大衆にそれを知ってもらうことを、彼らが望んでいるからである。そして、彼らが一般大衆にそれを知ってもらおうと考える、唯一のもっともらしい理由は、**大衆はウソをつかれることに合意していると、彼らは確信しているからだ。**

私が言いたいことは、よりわかり易く言えば、この報道のテレビ・バージョンを見てもらいたいということであり、ディラニアンやNBCアンカーの Alison Morris は、その熱弁によって、バイデン政権が、いかに見事にこれら心理作戦を用いて、プーチンの心理を攪乱させているかを見せたいのである。

事情の分かっている NBC 視聴者が、この部分を見ながら考えるのは、「すごいじゃないか？ 我々の大統領は、これら進んだ 3D のチェスの作戦で、プーチンを負かしているぞ。そして我々はそこに参加しているのだ！」ということである。

ずっと昔から明らかだったことは、アメリカ帝国が、この惑星の覇権的支配を強化するために、物語統制をいかにうまくやるかであり、それはインターネット検閲、プロパガンダ、シリコン・バレーのアルゴリズム操作、そして、ジャーナリストの起訴を常態化することによって行われた。我々は今、大衆が、自分自身の利益のために、ウソをつかれることに公然と合意するほどの、帝国主義的な物語統制の段階に達している。

ジュリアン・アサンジに対する中傷キャンペーンが、主流リベラルたちに、彼らの政府の権利を弁護させ、暗黒の秘密を守らせる訓練をしたように、**我々は今、政府が我々にウソをつく権利を、弁護してやる段階に達している**と言えるかもしれない。

アメリカは、ロシアと中国に対して、一極集中の覇権を確保するために、冷戦侵略を増強しつつあり、心理戦争が伝統的に、冷戦のための大きな役割を演じている。そこで今、明かに、アメリカの 2 つの主流政治党派が、彼らの政府の心理作戦の指揮を取る「思想家」を、狂ったように求めている。

この NBC 報道について、主流リベラルが言っていることに、インターネットがどう反応しているかをざっと見回しただけで、まさにこれが今起こっていることだとわかる。リベラルのサークルでは、**世界で最も強力な政府が、世界で最も強力なメディア制度を用いて、戦略的利益のために、民衆にウソをついているという、幅広い受け入れ方がある**と思われる。もしこれが受け入れられ続けるならば、帝国の経営者の経営が、これまでよりはるかに楽になるだろう。

[訳者 Greatchain 注]

これは、現在、テレビや新聞で連日、報道されているニュースが、ウソか本当か、どの程度まで本当かを、我々に考えさせる。まず何より、日本を含めた西側世界で報道されている戦争ニュースが、CIAによって編集されたものであり、アメリカはウクライナと一つになって、ロシアと戦争をしていることを、知っていなければならない。事実が正確か不正確かの弁別は困難だとは言え、例えば、ウクライナにはびこり、ロシアを敵とする「ネオナチ」というナショナリストの存在に、言及しないニュースは、その時点で信用することができない。そして、ウクライナ国民が、もし「ロシアが私を狙って撃ってきました」などとテレビに向かって言えば、それは、そう言うように脅されていると考えられる。(かつて北朝鮮の元日本在住者が一時帰国したとき、「私は幸福です、日本なんてちっともうらやましくない」と、公言したことがある。)

これを読むと、アメリカ政府にとって、そんなこと（ウソ）は承知の上のことであり、ニュース報道は、真偽の問題でなく、いかに巧みにウソをつくか（プロパガンダ）の問題であることがわかる。この記事で最も注目すべきは、最後のページ（p. 4）で、アメリカ人は、政府が自分に対してウソをつくことに合意するほど、（いわば）成熟している、と言っていることである。この「成熟」は「腐敗」ということである。真偽でなくレトリックで勝負する者を、我々は尊敬することができない。我々が、レトリックで勝負するバイデンのアメリカでなく、真偽で勝負するプーチンのロシアを選ぶ理由は、そこにある。